2023/2/27
アルタベビーセントラルおおたかの森園

保護者各位

「自己評価のご報告」

平素は、アルタベビーセントラルおおたかの森園の運営にご理解ご協力いただきありがとうございます。園の保育理念を目標に様々なことに取り組んでまいりました。職員が一年間を振り返り、評価をすることで新たな課題を見つけ、取り組むことによって、より良い保育を行っていけるよう、努めて参ります。

さて、先日はお忙しいなかアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。集計ができましたので、まず「保護者アンケート結果」、次に「職員自己評価まとめ」、最後に「園としての自己評価」をさせていただき、ここにご報告申し上げます。

1.保護者アンケート結果に関して

「保護者アンケート結果」アルタベビーC おおたかの森園				回答率：33.33%
No	質問項目	はい	どちらともいえない	いいえ
1	当社の保育理念・保育目標について理解していますか	50.00%	16.67%	33.33%
2	職員はお子さんの気持ちを大切にしていると感じますか	100.00%	0.00%	0.00%
3	職員の言葉遣いや態度、服装等が適切だと感じることはありますか	66.67%	16.67%	16.67%
4	保育園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか	83.33%	16.67%	0.00%
5	安全対策や感染症対策が十分取られていると思いますか	83.33%	16.67%	0.00%
6	お子さんが怪我をしたり、体調が悪くなったときの職員の対応は信頼できますか	100.00%	0.00%	0.00%
7	保育所で提供される食事・おやつはお子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっていると思いますか	50.00%	50.00%	0.00%
8	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員はきちんと対応してくれていると思いますか	66.67%	33.33%	0.00%
9	当園に満足されていますか	83.33%	0.00%	16.67%

・項目 1

当社の保育理念・保育目標の認知度は、「全体の半分の保護者の方が理解されていなかった。

【当社の保育理念・保育目標】

《保育理念》
日々の丁寧な関りによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てる。
《保育目標》
1.お互いの成長の先に「より良い人間関係」があることを理解し、毎日を自分らしく、自信を持って過ごすことができる。
2.環境保全や人権保護に関する課題をイメージし、解決のための考え方や行動を自分らしい言葉で伝えることができる。

当社の保育の特徴は、教育の 4 育を保育の指標とし、保育の 5 領域に関する発育を「総合的かつ段階的」に促すことです。また、幼児期早期から子どもたちに SDGs の環境保全や人権保護の論点を提示することで、社会に対する「様々な人と環境が関わり合うイメージ」が持てるよう促します。

卒園時には、お互いの個性の尊重や、明るく前向きな姿勢が「より良い人間関係や理想の未来」につながることを理解し、クラスのために自ら考え、毎日を楽しく過ごせる子どもを目指しています。

【当園の保育理念・保育目標】

《保育理念》
子ども一人ひとりが愛情に満ちあふれ心身共に元気で明るい子に育つ
《保育目標》
1.誰にでも優しく、思いやりのある子ども
2.笑顔に溢れ、明るく元気な子ども
3.「おはよう」「いただきます」「ありがとう」と挨拶ができる子ども
4.家族・友だち・先生・みんなが好きで、自分が好きなこども
5.よく食べて、よく眠り、よく遊ぶ子ども

上記の保育理念を保護者の方の送迎時に目につくような場所へ掲示しておくなどし、全員が認知できるようにする。
入園説明会や保育参観で声掛けだけではなく説明しても良いと思った。

・項目 2

職員がお子さまの気持ちを大切にしていると思われるに「はい」とお答えになられた方が100%ということで、今まで以上にお子さまの気持ちに寄り添い、引き続きお子さまと丁寧に向き合い保育して参りたいと思います。

・項目 3

適切ではないと答えられた方が 16.67%という結果で、不快な思いをさせてしまったことに今一度、職員全員が自らを振り返る機会を設け、改善に努めて参ります。園内でも保護者対応のシミュレーションを取り入れて適切に感じてもらえるよう研修しても良いと思った。

・項目 4

園内での清潔感を出すために、毎日の清掃・整理整頓を職員で常に見られていることを頭に置きながら、清潔に保てるよう定期的にチェックを行うようにしていく。環境が良いことは、子どもたちにとっても良いことなので、良い環境づくりを目指していくように、まず保育者が見本となり行っていく。

・項目 5

安全対策や感染症対策は、厳しい中保護者様のご協力に感謝しております。ただ、十分に対策されているかどうか不安な方もおられるという事は、しっかりと明確に、毎日の消毒の徹底を行っていることを伝える必要性を感じた。

・項目 6

怪我や体調変化の対応など、信頼を得ることに評価をいただいており、大変喜ばしいことであると感じております。怪我がおきた際のヒヤリハットの作成により、事故・怪我の予防を職員間で考慮し合い、より一層怪我や事故が起こらないようにしていく。
また、体調変化は、こまめに検温、触診、視診を行い、保護者の方への連絡を、子どもの体調を考慮しつつ素早く行っている。

・項目7

食事、おやつに関しては、献立などは、アルタベビー全園統一の献立となっており、その中で月齢やお子さまの発達など保護者の方と相談した中で進めていっております。
メニューの変更があった場合は、その都度お知らせしております。
給食に関しては、連絡帳アプリに写真を載せて、保護者の方にも、どのようなものを食べているのかをお知らせするように、しております。
ただ、写真だけでは、どのように工夫を行っているのかなど、分からない保護者の方が半数程おられる為、お迎え時などに保護者の方へ給食の様子を伝えるのもより安心できるのではないかと思った。お子さまの食事などで何かありましたら、お気軽見お話していただけたらと思います。

・項目8

不満に思ったこと、要望がある場合は、直接聞いていただき、要望書などいつでも書いてもらえるよう、意見箱を玄関に設置しております。
対応など受けた際は、職員間で連絡・報告をし、対応の善し悪しを話し合い、より保護者の方へのしっかりとした対応が行えるようにしていかねばならない。

項目9

園への満足度が、良い方向へとなるよう、職員間で議論し見直しを行う。
保護者の方との連携を密に取り合い、不安を取り除くことが大切であると考えます。

以上が、アルタベビーセントラルおおたかの森園の全職員が、保護者の方にご協力いただいたアンケートの結果を踏まえた今後の改善点や感想になります。
今後も掲げている保育理念、保育目標を軸に、より良い保育を進めて参ります。

2.職員自己評価に関して

・当社姿勢目標の順守に関して

・チームとして協力して職員同士声掛けなど積極的に行っていく。
・得意分野として、ピアノを活用し、会やクラスのリトミック、リズム遊びを行う。
・打刻ミスのないよう、打刻をわすれないなどの紙を掲示したり、職員同士声を掛け合うなどしていった。
・報告が遅れたり、忘れたりとあったので、速やかに報告をしていきたいと感じた。
・職場の雰囲気を大切に、笑顔を忘れず、職員同士の連携を取り合っていった。
・自信のない時に声が小さくなっていたので、改善していきたいと感じた。
・手遊び、歌などもう少し幅を広げるよう勉強が必要だった。
・打刻忘れがないよう他の先生と声を掛け合う。
・報告や連絡が忘れてしまうことがあるため、必ず紙に書いて伝え忘れがないようにしていく。
・職員が研修など行った時は、全員で共有し、次の新たな保育へと繋げる。

・コドモンを用いた保育計画に関して

・年齢や発達に合った活動を取り入れて行っている。
・新しい素材や教材、活動、挑戦を定期的に用意している。
・全て保育者が主導権を握るのではなく、子どもたちの興味関心があるものから活動を計画したり、子どもたち自身に遊びを選択して遊べるようにしている。
・毎月の週案、月案など、子ども達の発達を見極め立てていたが、環境設定をもう少し考慮する必要性があった。

・保育の成果集(Libro)に関して

・リブロなどで自分も保育を振り返り、また他の保育者のも知ることで、スキルアップ
・それぞれリブロを通して自分や他の職員の保育計画内容、環境構成を知れ、見直すことができた。参考になることもあったので良かった。
・リブロを作成することで、自分自身の保育を振り返ることができ、より良い保育を行えるきっかけになった。

・子どもとの正しい接し方(Luce)に関して

・毎日の絵本など見飽きないよう本棚の絵本を交換したり、図書館などで借りて違った絵本を読み聞かせていくなどしていき、いつもと違った絵本の楽しさを伝えていった。
・子供のはなしをよく聞き、共に笑い合い、共感する事で子どもが生き生きとした姿を見せるようにしていった。
・子どもが自由に遊んでいる時の関わり方に工夫が足りず、子どもがより楽しめるように導いていく事が少なかった。

・一人ひとりに応じた関わりかたや配慮をする

・子どもの話すスピードは個人差があるので、ゆったりのした雰囲気の中で、最後まで子どもたちの話に耳を傾け、気持ちを受け止めながら、やりとりをしている。
・子どもたちの遊びが広がるよう一人ひとりの発想を大切にしながら遊びを共有している。
・給食は、個々の発達に合わせ、刻み、量など配慮していった。
・午睡、食事など保護者の方と一緒に、その児の発達、家庭での様子を踏まえ、安心できるよう一緒に考え、また信頼関係を築いていく。
・子ども一人ひとりの性格や状況を見極め、その時、その子に適した関わりをしていくことができた。

・子どもの最善の利益を考慮する（声かけ・言葉遣いなどを含む）

・子どもたち、一人ひとりに合わせて言葉がけや保育を進めていった。
・笑顔、言葉遣いに十分配慮し丁寧を心がけた。
・子どもと関わる時、できるだけ目線を合わせ関わり、言葉遣いも気をつけている。
・子どもが指さしや反応していることに対して声を掛けたりしてコミュニケーションを取っている。
・一人ひとりに合わせて言葉掛け等工夫して行った。
・自分でやってみようと思えるような声掛けをしていった。
・相手が子どもだから、ではなく、同じ人として嫌な気持ちになる言い方や言葉を使わないように気をつけていった。
・気持ちを受け止めてもらえた、聞いてもらえたと思えるような関わりにつながるよう努めた。
・子どもたちの思いに寄り添いながら、毎日が楽しく過ごせるよう心掛けた。

・コロナがある中で、遊びが制限されることもあったが、様々な体験や遊びを通して楽しめるよう工夫 ができたと思う。
・配慮の面では、自分が気付けないこともあり、学びの多い１年だった。
・声かけでは、 分かりやすく伝えることを意識した。
・子どもたちの興味や意欲を大切にし、活動を広げていけるよう努めた。
・感性や個性を認め、それぞれが自信を持って活動を行えるよう見守り、無理強いはしないよう心掛けた。

3.園としての自己評価に関して

・当社（全園共通）の保育理念（国際人を育成する）に関して

日々の丁寧な関りによって健全な生活習慣の形成を促し、明るく前向きな姿勢を保つとともに、自分らしく元気な姿でより良い人間関係を自ら求め、将来国際社会で活躍できる子どもを育てる。
を踏まえ、日々より良い保育を目指します。

・当園の保育目標に関して

皆さまから回答いただきました結果を踏まえて、来年度もお子さま一人ひとりを尊重していくこと、安心安全な保育環境を整えることを大前提とし、その上で以下３点について目標を掲げ、保育を進めてまいりたいと思います。

① 子どもたち一人ひとりに手寧に寄り添った家庭的な保育
② 食育、季節の行事を大切にした保育
③ 活動や体験を通して、豊かな情緒を育む保育